

平成23年度事業計画

《基本方針》

わが国の経済は、一昨年末の米国で端を発した金融危機の煽りを受けて、百年に一度とも言われる不況下にさらされており、為替相場、株式低迷、雇用環境の急激な変化等、社会全体の陰は暗く依然として大変厳しい状況となっています。

また、国内での超高齢社会は世界においても例はなく、活力ある地域社会を保持するには、高齢者が就業を通して多様な社会参加を果たし、健康増進、生きがい対策、社会貢献の一助となることが期待されていますが、昨今は最低生活の生命線のネットとしても機能していることは否定できません。

しかしながら、依然として国及び地方公共団体においては、厳しい財政状況が続いています。また、現政権下での行政刷新会議等におけるシルバー援助事業は大変厳しい評価を受けており、センターの存続自体が問われる大幅な予算削減が実施されています。

こうした情勢の大幅な変化や、今後予想される団塊世代への多様なニーズにむけて、シルバー事業が展開できるように就業開拓に取り組み、自立して安定できるようにしなくてはなりません。このことから、きちんとした組織に移行し、公益法人制度への抜本的改革を行い、社会的信用度も得て事業の拡大を目指したいと考えます。センターが策定した「財務改善5カ年計画」も平成22年度で終了しました。受注量の拡大は望めませんでした。関係機関・会員・役職員のご協力により、目標を達成することができました。しかし、冒頭による全体的な経済情勢の停滞や現政権下での予測できなかった大幅な予算削減では、これから先も楽観はできず役職員及び会員にも厳しいセンター運営が予想されますが、萩地域におけるセンターの担い手としての存在意義は大きく、燈を灯し続けなくてはなりません。つきましては、本年度も下記における事業計画を重点的に取り組み、地域に必要なセンターとして役職員及び会員が、永年培った知識・経験・技能を生かして、地域に貢献する為に積極的に活動して参りたいと思います。

事業計画

①事業拡大

信頼される仕事や地域社会に頼られる活動が大切であると自覚して、センター事業を推進し一人一人が受注活動を行って事業拡大に努めます。

②安全就業・適正就業

「安全はすべてに優先する」を再度全員で認識して事故防止に努める。「法令遵守」を浸透させシルバーの就業に合うか合わないか検討し適正な就業を確保をします。

③公益法人制度改革

平成24年4月スタートを目指し、それに伴う整備をして申請を行う。

④再度適正な運営を目指して

「財務改善5カ年計画」が終了したとはいえ、計画前には想定してない現状に直面しています。新しい執行部のもと課題に取り組んでいきたいと考えます。